

学位授与の方針（大学院 研究科）

本学の建学の精神は「禪的仏教精神による人格の陶冶」である。その教育の目的は、どのような状況であっても主体的に行動できる、自立性・自律性を涵養することである。それはまた、「己事究明」を基盤とし、専門的知識・技術を身に付けることを通して、自分が素質として本来持っている力を発見することである。さらには、周りにいる人間の多様性を理解した上で、問題・課題の解決につながる思考・判断をすることができ、コミュニケーション能力を活用し、「利他の精神」に基づいて、社会に貢献することができる人材を養成することである。つまり、「自己を知り、他者を受け入れ、社会に貢献する人材を養成する」ことに他ならない。

大学院は、①「創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者等の養成」、②「高度な専門的知識・能力を持つ高度専門職業人の養成」、③「確かな教育能力と研究能力を兼ね備えた大学教員の養成」、④「知識基盤社会を多様に支える高度で知的な素養のある人材の養成」という「4つの人材養成機能」を担っている。また、知識集約型社会における知の生産、価値創造を先導する「知のプロフェッショナル」を育成する役割を、高等教育機関の中でも、とりわけ中心的に担うことが大学院には期待されている。

そうした人材を養成するために、花園大学大学院は修了時に身に付けておくべき5つの資質・能力を定め、それらを身に付けることを到達目標とする教育課程(カリキュラム)を編成する。本学大学院は、所定の期間在籍し、所定の単位を修得し、学位論文を提出してその審査及び試験に合格したことをもって、教育目標を達成したものとみなし、修士・博士の学位を授与する。

(1) 自立性・自律性・主体性〔DP1〕

より優れた見方・考え方の獲得を目指して学び続け、自立性と自律性を持って主体的に研究を行うことができる。

(2) 知識・理解〔DP2〕

研究科・専攻の専門分野において、高度な知識に基づく研究能力と、高度な専門性を必要とする職業に従事するための能力を身につけている。

(3) 思考・判断〔DP3〕

研究科・専攻の専門分野において、情報や知識を論理的に分析して表現したり、問題・課題を発見して、その解決に必要な情報を収集・分析したりできる思考力や判断力を身に付け、学位論文にまとめることができる。

(4) 技能・表現〔DP4〕

研究遂行の基礎となる文献・資料を読解するために必要な語学能力を備えている。研究遂行のために必要な情報収集および論理的思考の能力を備えている。研究成果を発信するために必要なレベルの語学能力を身につけている。

(5) 態度・志向〔DP5〕

他者の立場や利益を慮る「利他の精神」を養成し、社会の一員としての意識を持って、高度な専門性を必要とする職業人として、社会のために積極的に関与し、社会に貢献することができる。

専門家としての強い責任感と倫理性をもって研究を遂行する能力を身につけている。

学位授与の方針（大学院 研究科）

文学研究科

文学研究科の目的を達成するために、修了時に身に付けておくべき5つの資質・能力を定め、所定の期間在籍し、所定の単位を修得し、学位論文を提出してその審査及び試験に合格したことをもって、教育目標を達成したものとみなし、修士・博士の学位を授与する。

(1) 自立性・自律性・主体性〔DP1〕

より優れた見方・考え方の獲得を目指して学び続け、自立性と自律性を持って主体的に研究を行うことができる。

(2) 知識・理解〔DP2〕

仏教学・日本史学・国文学のそれぞれの専門分野において、高度な知識に基づく研究能力と、高度な専門性を必要とする職業に従事するための能力を身につけている。

(3) 思考・判断〔DP3〕

仏教学・日本史学・国文学のそれぞれの専門分野において、情報や知識を論理的に分析して表現したり、問題・課題を発見して、その解決に必要な情報を収集・分析したりできる思考力や判断力を身に付け、学位論文にまとめることができる。

(4) 技能・表現〔DP4〕

研究遂行の基礎となる文献・資料を読解するために必要な語学能力を備えている。

研究遂行のために必要な情報収集および論理的思考の能力を備えている。研究成果を発信するために必要なレベルの語学能力を身につけている。

(5) 態度・志向〔DP5〕

他者の立場や利益を慮る「利他の精神」を養成し、社会の一員としての意識を持って、高度な専門性を必要とする職業人として、社会のために積極的に関与し、社会に貢献することができる。専門家としての強い責任感と倫理性をもって研究を遂行する能力を身につけている。

社会福祉学研究科

社会福祉学研究科の目的を達成するために、修了時に身に付けておくべき5つの資質・能力を定め、所定の期間在籍し、所定の単位を修得し、学位論文を提出してその審査及び試験に合格したことをもって、教育目標を達成したものとみなし、修士の学位を授与する。

(1) 自立性・自律性・主体性〔DP1〕

より優れた見方・考え方の獲得を目指して学び続け、自立性と自律性を持って主体的に研究を行うことができる。

(2) 知識・理解〔DP2〕

社会福祉学及び臨床心理学のそれぞれの専門分野において、高度な知識に基づく研究能力と、高度な専門性を必要とする職業に従事するための能力を身につけている。

(3) 思考・判断〔DP3〕

社会福祉学及び臨床心理学のそれぞれの専門分野において、情報や知識を論理的に分析して表現したり、問題・課題を発見して、その解決に必要な情報を収集・分析したりできる思考力や判断力を身に付け、学位論文にまとめることができる。

(4) 技能・表現〔DP4〕

研究遂行の基礎となる文献・資料を読解するために必要な語学能力を備えている。研究成果を発信するために必要なレベルの語学能力を身につけている。

(5) 態度・志向〔DP5〕

他者の立場や利益を慮る「利他の精神」を養成し、社会の一員としての意識を持って、高度な専門性を必要とする職業人として、社会のために積極的に関与し、社

会に貢献することができる。専門家としての責任感と倫理性をもって研究を遂行する能力を身につけている。

〈修士課程〉文学研究科仏教学専攻

仏教学専攻の目的を達成するために、修了時に身に付けておくべき5つの資質・能力を定め、所定の期間在籍し、所定の単位を修得し、学位論文を提出してその審査及び試験に合格したことをもって、教育目標を達成したものとみなし、修士の学位を授与する。

(1) 自立性・自律性・主体性〔DP1〕

より優れた見方・考え方の獲得を目指して学び続け、自立性と自律性を持って主体的に研究を行うことができる。

(2) 知識・理解〔DP2〕

臨済禅を中心とした仏教に関する高度な知識に基づく研究能力と、高度な専門性を必要とする職業に従事するための能力を身につけている。

(3) 思考・判断〔DP3〕

臨済禅を中心とした仏教に関する情報や知識を論理的に分析して表現したり、問題・課題を発見して、その解決に必要な情報を収集・分析したりできる思考力や判断力を身に付け、学位論文にまとめることができる。

(4) 技能・表現〔DP4〕

研究遂行の基礎となる文献・資料を読解するために必要な語学能力を備えている。研究遂行のために必要な情報収集および論理的思考の能力を備えている。研究成果を発信するために必要なレベルの語学能力を身につけている。

(5) 態度・志向〔DP5〕

他者の立場や利益を慮る「利他の精神」を養成し、社会の一員としての意識を持って、高度な専門性を必要とする職業人として、社会のために積極的に関与し、社会に貢献することができる。専門家としての強い責任感と倫理性をもって研究を遂行する能力を身につけている。

〈修士課程〉文学研究科日本史学専攻

日本史学専攻の目的を達成するために、修了時に身に付けておくべき5つの資質・能力

を定め、所定の期間在籍し、所定の単位を修得し、学位論文を提出してその審査及び試験に合格したことをもって、教育目標を達成したものとみなし、修士の学位を授与する。

(1) 自立性・自律性・主体性〔DP1〕

より優れた見方・考え方の獲得を目指して学び続け、自立性と自律性を持って主体的に研究を行うことができる。

(2) 知識・理解〔DP2〕

日本史学の各専門領域における高度な知識に基づく研究能力と、高度な専門性を必要とする職業に従事するための能力を身につけている。

(3) 思考・判断〔DP3〕

日本史学の各専門領域における情報や知識を論理的に分析して表現したり、問題・課題を発見して、その解決に必要な情報を収集・分析したりできる思考力や判断力を身に付け、学位論文にまとめることができる。

(4) 技能・表現〔DP4〕

研究遂行の基礎となる文献・資料を読解するために必要な語学能力を備えている。研究遂行のために必要な情報収集および論理的思考の能力を備えている。研究成果を発信するために必要なレベルの語学能力を身につけている。

(5) 態度・志向〔DP5〕

他者の立場や利益を慮る「利他の精神」を養成し、社会の一員としての意識を持って、高度な専門性を必要とする職業人として、社会のために積極的に関与し、社会に貢献することができる。専門家としての強い責任感と倫理性をもって研究を遂行する能力を身につけている。

〈修士課程〉文学研究科国文学専攻

国文学専攻の目的を達成するために、修了時に身に付けておくべき5つの資質・能力を定め、所定の期間在籍し、所定の単位を修得し、学位論文を提出してその審査及び試験に合格したことをもって、教育目標を達成したものとみなし、修士の学位を授与する。

(1) 自立性・自律性・主体性〔DP1〕

より優れた見方・考え方の獲得を目指して学び続け、自立性と自律性を持って主体的に研究を行うことができる。

(2) 知識・理解〔DP2〕

日本の文学・言語学・言語文化に関する高度な知識に基づく研究能力と、高度な専門性を必要とする職業に従事するための能力を身につけている。

(3) 思考・判断〔DP3〕

日本の文学・言語学・言語文化に関する情報や知識を論理的に分析して表現したり、問題・課題を発見して、その解決に必要な情報を収集・分析したりできる思考力や判断力を身に付け、学位論文にまとめることができる。

(4) 技能・表現〔DP4〕

研究遂行の基礎となる文献・資料を読解するために必要な語学能力を備えている。研究遂行のために必要な情報収集および論理的思考の能力を備えている。研究成果を発信するために必要なレベルの語学能力を身につけている。

(5) 態度・志向〔DP5〕

他者の立場や利益を慮る「利他の精神」を養成し、社会の一員としての意識を持って、高度な専門性を必要とする職業人として、社会のために積極的に関与し、社会に貢献することができる。専門家としての強い責任感と倫理性をもって研究を遂行する能力を身につけている。

<修士課程>社会福祉学研究科社会福祉学専攻

社会福祉学専攻の目的を達成するために、修了時に身に付けておくべき5つの資質・能力を定め、所定の期間在籍し、所定の単位を修得し、学位論文を提出してその審査及び試験に合格したことをもって、教育目標を達成したものとみなし、修士の学位を授与する。

(1) 自立性・自律性・主体性〔DP1〕

より優れた見方・考え方の獲得を目指して学び続け、自立性と自律性を持って主体的に研究を行うことができる。

(2) 知識・理解〔DP2〕

社会福祉学及び臨床心理学のそれぞれの専門分野において、高度な知識に基づく研究能力と、高度な専門性を必要とする職業に従事するための能力を身につけている。

(3) 思考・判断〔DP3〕

社会福祉学及び臨床心理学のそれぞれの専門分野において、情報や知識を論理的

に分析して表現したり、問題・課題を発見して、その解決に必要な情報を収集・分析したりできる思考力や判断力を身に付け、学位論文にまとめることができる。

(4) 技能・表現〔DP4〕

研究遂行の基礎となる文献・資料を読解するために必要な語学能力を備えている。研究成果を発信するために必要なレベルの語学能力を身につけている。

(5) 態度・志向〔DP5〕

他者の立場や利益を慮る「利他の精神」を養成し、社会の一員としての意識を持って、高度な専門性を必要とする職業人として、社会のために積極的に関与し、社会に貢献することができる。専門家としての責任感と倫理性をもって研究を遂行する能力を身につけている。

〈博士後期課程〉仏教学専攻

仏教学専攻の目的を達成するために、修了時に身に付けておくべき5つの資質・能力を定め、所定の期間在籍し、所定の単位を修得し、学位論文を提出してその審査及び試験に合格したことをもって、教育目標を達成したものとみなし、博士の学位を授与する。

(1) 自立性・自律性・主体性〔DP1〕

より優れた見方・考え方の獲得を目指して学び続け、自立性と自律性を持って主体的に研究を行うことができる。

(2) 知識・理解〔DP2〕

臨済禅を中心とした仏教の専門的研究者として自立できる研究能力と、高度な専門性を必要とする指導的な高度専門職業人としての能力を身につけている。

(3) 思考・判断〔DP3〕

臨済禅を中心とした仏教に関する情報や知識を論理的に分析して表現したり、問題・課題を発見して、その解決に必要な情報を収集・分析したりできる高度な思考力や判断力を身に付け、学位論文にまとめることができる。

(4) 技能・表現〔DP4〕

研究遂行の基礎となる文献・資料を読解するための高度な語学能力を備えている。研究遂行のために必要な情報収集および論理的思考の能力を備えている。研究成果を発信するための高度な語学能力を身につけている。

(5) 態度・志向〔DP5〕

他者の立場や利益を慮る「利他の精神」を養成し、社会の一員としての意識を持って、高度な専門性を必要とする職業人として、社会のために積極的に関与し、社会に貢献することができる。専門家としての強い責任感と倫理性をもって研究を遂行する能力を身につけている。